

学科名 介護福祉学科（昼間部 2 年制）

養成目的

日本における高齢者社会を取り巻く状況が変化する中で、今後の介護福祉サービスは、多岐にわたるニーズに対応する幅広い支援が必要である。要介護者が住みなれた地域で自分らしく暮らすことができるという福祉には、これまで以上に介護福祉士の専門性、質の向上・確保が重要な鍵となり、養成校で学ぶ意義や質も注目されている。本科では、介護福祉士として必要な専門的知識・技術・態度を習得し、人間愛あふれる姿勢を礎に豊かな感性と高い倫理観をもって福祉にとどまらず医療等の関連領域への理解を深める。そして、高齢者や障害者介護に関わる人々の間で連携を図り、広く社会に活躍することができる有能な人材を育成することを目指す。

- 1 人間の個性を大切にし、豊かな感性と品性を養う。
- 2 要介護状態であっても主体的に生活している利用者の自立（自律）を支援する能力を養う。
- 3 社会における介護福祉士の役割を認識し、広く地域共生社会に貢献できる能力を養う。
- 4 医療的視点を理解し、自身の職種の強み、他職種との連携できる能力を養う。
- 5 異文化を理解するとともに、国際社会における日本の介護福祉の役割を理解し、国際協力に貢献できる基礎的能力を養う。

教育目的（ミッション）

- 1 人の可能性や生活の価値を肯定的にとらえられ、人間関係の構築をするためのコミュニケーション能力を身につける。
- 2 介護実践の根拠を理解し、介護の専門性のありきをふまえ、他の職種との協働連携できるチームアプローチの必要性についても理解を深める。その上で利用者の自立支援に資するサービスを包括的かつ計画的に提供できる知識を養う。
- 3 グローバルな視点を持ち、世界における人々の健康問題や高齢者介護福祉の動向に関心を持ち、介護福祉のあり方を含め人的社会資源としてどのように活用され、また活躍できるのか等幅広く考えることができる力を養う。
- 4 あらゆる介護場面に共通する基礎となる介護技術を身につけ、介護福祉士として、家族への指導や助言や後輩の育成ができる能力を身につける。

取得目標資格

- | | |
|-------------------|---------------------------|
| 1 介護福祉士（国家資格）受験資格 | 2 コミュニケーションスキルアップ検定（外部受験） |
| 3 介護予防運動トレーナー | 4 福祉住環境コーディネーター（外部受験） |

就職分野

介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）、老人保健施設、グループホーム（認知症対応型共同生活介護）
有料老人ホーム、デイサービス、障害者施設、病院、シルバーサービス会社

職 種

介護福祉士	※施設介護職員、介護関連企業社員
実務経験後に就く職種	※サービス提供責任者、在宅介護事業所管理者 等